

## 中学校英語科における知識・技能の活用を 図ることをねらいとした問題の作成

### 《補助資料目次》

- 【補助資料 1】 基礎的・基本的な知識・技能の活用を図ることをねらいとした問題 …… 1  
 【補助資料 2】 中学校英語科「活用問題」を利用するに当たって …… 2  
 【補助資料 3】 中学校英語科における「活用問題」の実際

問題番号	学年と単元	タイトル	活用する技能	主な言語活動	
3	1 年生 Unit 2	スミス先生の子どもたち	ア 聞くこと(オ) エ 書くこと(オ)	対話文を聞き取り 紹介文を書く	…… 4
8	1 年生 Unit 6	大好きな Alice	イ 話すこと(オ) エ 書くこと(オ)	Show and Tell の スピーチ原稿を書く	…… 8
1	2 年生 Warm up	新しい友達	ウ 読むこと(ウ) イ 話すこと(オ)	対話文を読み取り 友達を紹介する	…… 10
3	3 年生 Unit 2	由香のインタビュー	ウ 読むこと(ウ) イ 話すこと(ウ)	記事を書くための インタビュー	…… 14
4	3 年生 Unit 3	スクールニュース	ウ 読むこと(オ) エ 書くこと(ウ)	ニュースを読んで 感想を書く	…… 18

【補助資料 4】 「活用問題」 一覧表

第 1 学年	……	21
第 2 学年	……	24
第 3 学年	……	26

平成 23 年 2 月 18 日  
 岩手県立総合教育センター  
 長期研修生  
 所属校 奥州市立水沢中学校  
 村 上 花 恵

表紙裏の余白ページです

# 『基礎的・基本的な知識・技能の活用を 図ることをねらいとした問題』

岩手県立総合教育センター

## 1 はじめに

本県の義務教育では、「すべての児童生徒一人一人に基礎・基本の定着を実現していく」ことを目標にしています。

総合教育センターでは、『基礎的・基本的な知識・技能の活用を図ることをねらいとした問題』（以下「活用問題」と表記）を作成し、提示することを通して、児童生徒への基礎・基本の定着を支援しようと考え、本資料にまとめました。

## 2 「活用問題」に関する基本的な考え方

### (1) 本県における基礎・基本の定着について

本県においては、「基礎・基本」を、読み・書き・計算といった学習基盤の育成及び各教科等における基礎的・基本的な知識や技能の習得とともに、その知識や技能を活用して人間として社会人として生涯学ぶことができ、自らの人生を切り開いていくために必要な能力（思考力、判断力、表現力等）ととらえています。（平成22年度学校教育指導指針より）

このことから、基礎・基本の定着を目指すために、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるとともに、それらを活用する学習活動を手立てとして、思考力、判断力、表現力等を育成することを目的とした授業を実践することが求められています。単元構想に「活用」を意識した学習活動を意図的に位置付けていくことが大切です。

### (2) 「活用問題」とは

「活用問題」とは、学習指導要領を基に、知識・技能を活用して、思考力、判断力、表現力等を育むことを目的とした問題です。

そのために、「活用問題」は、必要な情報を取り出したり、根拠を持って考えたり、自分の考えを説明したりするなどの言語活動に取り組めるよう構成しています。

### (3) 「活用問題」を利用するに当たって

「活用問題」は、知識・技能の活用への習熟を図るために利用することを想定して作成しています。

児童生徒は、「活用問題」を授業や家庭学習などで繰り返し取り組むことによって、知識・技能を活用することに習熟していきます。また、問題の「正答例と解説」を通して、知識・技能を活用する手立てを確認したり、活用することで確かな習得がなされたりします。

また、教師が児童生徒の解答状況から授業実践を振り返ることによって、授業改善にもつながり、児童生徒への基礎・基本の定着を図ることができると考えます。

## 中学校英語科『活用問題』を利用するに当たって

岩手県立総合教育センター

### 問題作成に当たっての基本的な考え方

中学校英語科における「活用」とは、「言語活動そのもの」をさします。（『活用』に関する指導資料）岩手県教育委員会，2008）「活用問題」は教科書の単元ごとに，身近な英語使用の場面で，お互いの気持ちや考えを伝え合う言語活動を想定して作られています。問題を解くためには，複数の既習事項を組み合わせることで活用すること，「話すために読む」，「聞いたことについて書く」などのように，それぞれの技能を有機的に結びつけて活用することが求められます。

### 問題の使用に当たって

#### 授業の中で・・・

##### ●単元のまとめ

問題は単元ごとに作られています。単元の最後に「活用問題」を位置づけることで，「活用」を意識した授業展開を取り入れた単元の指導構想を立てることができ，学習や指導の振り返りをすることもできます。

##### ●言語活動のテーマ

「活用問題」を使って授業を展開することができます。「聞く」，「話す」の活動を加えたり，ペアやグループの学習形態を取り入れたりすることで，総合的な言語活動に発展させることができます。

##### ●既習事項の復習

「活用問題」に取り組みせることで，既習事項の総合的な復習をさせることができます。問題の場面設定や設問の条件を変えることで，難易度や活用する知識・技能を変えることができます。

#### 家庭学習として・・・

##### ●「活用」を家庭学習で

授業で学習したことを，別の場面設定や条件の下で活用させる課題として「活用問題」を利用することができます。週末課題や長期休業中の課題としては，語彙や文法のドリルと併用することで学習効果を高めることができます。

##### ●授業と連動した家庭学習

「活用問題」を利用することで授業と家庭学習を連動させることができます。授業で「活用問題」に取り組む前に，必要な言語材料の練習や参考になる表現の暗唱などを家庭学習として行わせることができます。また，「活用問題」に取り組むことで明らかになった課題に家庭学習で取り組みさせることで，知識・技能の習得を促すことができます。

## 問題について

「活用問題」は、下に示すように言語活動のプロセスに沿って構成されています。「活用問題」に繰り返し取り組むことで活用への習熟が図られ、コミュニケーションに必要な思考力・判断力・表現力等が育成されます。

### 7 スミス先生の家族

目標タイム：15分  
実施の目安：1年 Unit6～

英語の時間に、スミス先生が家族の写真をを見せてくれました。スミス先生の家族についていろいろな質問をしています。先生とみんなの対話を読んであとの問いに答えましょう。



- 生徒1 : How many \*children do you have?  
Mr. Smith : I have three children. This is Emily. This is Mike. And this is David.
- 生徒2 : Does Mike play tennis?  
Mr. Smith : No, he doesn't. He plays badminton. He is a very good player.
- 生徒2 : Is he a high school student?  
Mr. Smith : Yes, he is. He speaks Japanese very well.
- 生徒3 : Is Emily a high school student, too?  
Mr. Smith : No, she's not. She is a teacher. She lives in America.
- 生徒4 : What does she teach?  
Mr. Smith : She teaches music. She plays the piano very well.
- 生徒5 : Does Mrs. Smith have a dog?  
Mr. Smith : Yes, she does. She likes animals.

### 4 英語での表現

事実、自分の考えや気持ちなどを伝えるために、英語で表現します。

## 採点や事後指導について

「正答例と解説」を利用して採点や事後指導をする際には、英語としての正しさだけに注目するのではなく、以下のことも大切に考えます。

- ① テキストから取り出した情報に基づく解答になっているか。
- ② 場面や状況に合った表現か。
- ③ 既習事項を活用しているか。

## 言語活動のプロセス

### 1 場面や状況の把握

タイトル・問題文などから、場面設定や状況を把握します。

### 2 情報の取り出し

様々なテキスト（文章、絵、図表、グラフなど）から必要な情報を取り出します。

### 3 情報の整理

取り出した情報を、目的に合わせて整理します。

1 クラスのみんなと話し合い、わかったことを表の①～⑤の欄に日本語で記入し、スミス先生の家族について質問しましょう。

名前・年齢	職業	住んでいるところ	好きなもの、得意なことなど
Mr. Smith (47)	学校の先生 (英語)	日本	・ギター演奏 ・キャンプが趣味
Mrs. Smith (45)	主婦	日本	①
Emily (23)	学校の先生 ②( )	③	④
Mike (17)	高校生	日本	⑤
David ( )			

2 上の表を完成させるために、あなたもクラスみんなに続いて、デイビッド (David) のことについてスミス先生に質問してみましょう。質問は3つ以上考えましょう。

① \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_

③ \_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

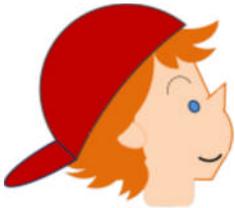
\_\_\_\_\_

# 3 スミス先生の子供たち

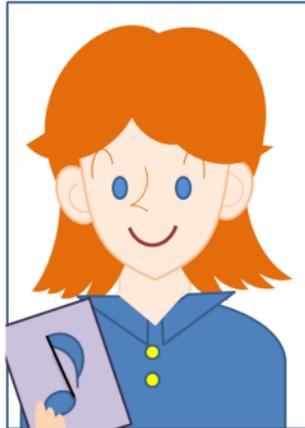
目標タイム：15分

実施の目安：1年 Unit 2～

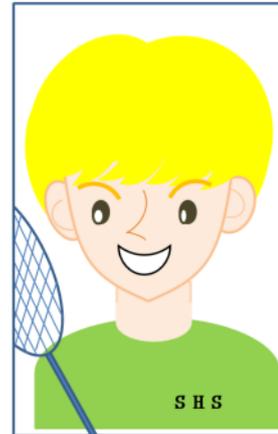
純(Jun)は休日に、アメリカ人のスミス先生 (Mr. Smith) の家に遊びに行きました。先生の息子さんで小学校5年生のデイビッド (David) が、写真を見ながら家族の説明をしてくれています。



David



Emily



Mike

1 どうやらDavidは3人兄弟のようです。JunとDavidの会話を聞いて、それぞれどんな人が写真のわきに簡単にメモしましょう。(メモは英語でも日本語でもかまいません。)

また、3人を年齢の順に並べるとどうなりますか。解答欄に名前を書き、そう思った理由を日本語で簡単に説明しましょう。

一番年上

まん中

一番年下

.....	.....	.....
.....	.....	.....
.....	.....	.....

理由

2 Mike と Emily のどちらかについて、友達に英語で紹介する英文を書きましょう。写真を見せながら紹介します。英文は2文で書きます。単語や文の書き方に注意して書きましょう。また、わからない語句は辞書で調べて書きましょう。

.....

.....

.....

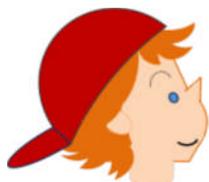
.....

.....

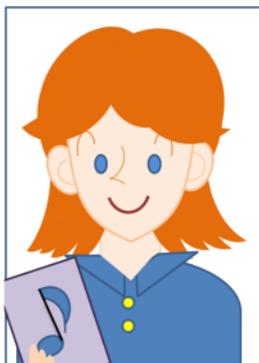
.....

### 3 スミス先生の子供たち **Listening Script**

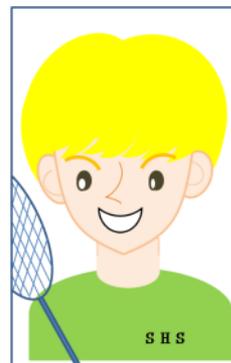
純(Jun)は休日に、アメリカ人のスミス先生 (Mr. Smith) の家に遊びに行きました。先生の息子さんで小学校5年生のデイビッド (David) が、写真を見ながら家族の説明をしてくれています。



David



Emily



Mike

- 1 どうやら David は3人兄弟のようです。Junと David の会話を聞いて、それぞれどんな人が写真のわきに簡単にメモしましょう。(メモは英語でも日本語でもかまいません。) また、3人を年齢の順に並べるとどうなりますか。解答欄に名前を書き、そう思った理由を日本語で簡単に説明しましょう。

**David:** This is Emily.

**Jun :** Emily?

**David:** Yes. She is my sister.  
She is a music teacher.

**Jun :** A music teacher? In Japan?

**David:** No. She's in America.

**Jun :** So Emily is a music teacher in America.

**David:** Yes, she is. And she is twenty-three.

**Jun :** Twenty-three. I see.  
Is that your brother?

**David:** Yes. This is my brother Mike. He is seventeen.

**Jun :** Seven?

**David:** Ha ha! Seventeen. He is a high school student.

**Jun :** Ah, Sakura high school?

**David:** Yes.

**Jun :** Is that a tennis racket?

**David:** No, it's not. It's a badminton racket.  
He is a very good badminton player.

**Jun :** Wow! I like badminton, too.

#### <未習表現について>

対話にはいくつか未習表現が含まれている。わからなくても解答できるが、実態に応じて必要な表現は授業の中で導入しておくこともできる。

#### <聞かせる回数について>

実際の会話では聞き逃したことを聞き返して確認できるが、聞き取り問題ではその場で確認ができない。そのため、テキストではキーワードを対話の中で繰り返している。できれば実際の場面を想定し、1回だけ聞かせるようにしたい。

生徒の実態に応じ、対話のスピード、キーワードを繰り返す回数など工夫して、できるだけ実際の対話に近づけたい。







## 8 大好きなAlice 正答例と解説

### 問題を解くために

- ① 資料のプロフィールとコメントから紹介したい内容を選ぶ
- ② 伝えたいことを適切に伝えるために、どの内容をどんな順序で書いたらいいか考える
- ③ 動詞の形、代名詞などに注意しながら英文を書く

### 正答例

<プロフィールから>

She is a rock singer.

She is sixteen (years old).

She is from Australia.

She speaks English and Japanese.

She plays the guitar and the drums.

She likes \*listening to music. \*音楽鑑賞

<音楽雑誌のコメントから>

She likes music.

Music is her friend.

Rock is her soul.

Her mother is Japanese.

She likes Japan very much.

<その他>

She is very cool. \*cool カッコいい

She sings songs very well. \*sing 歌う

I like Alice very much.

### 解説

<内容の選択について>

- ・「自分の好きな人、物」がスピーチのテーマですから、Aliceのどんなところが好きなかを伝えましょう。

<英文について>

- ・ Alice (She) が主語になる文は、動詞の形に注意します。
- 書き出しの文に「Alice」があるので、次の文からはAliceの代わりに代名詞のSheを主語として使います。

★ 主語が I, you 以外(三人称)で単数

動詞に sまたはesがつく

疑問文では does を使い動詞は原形

否定文では does not + 動詞(原形)

→ Unit 6

<スピーチの構成について>

- ・ 関連のある内容を続けるようにするとわかりやすくなります。
- ・ 聞く人への呼びかけも効果的です。

### STEP UP

スピーチのポイント ~伝えたいことをしっかり伝えるために~

#### ○わかりやすく効果的な構成で

スピーチでは、I'm going to tell you about ~. (これから~について話します。) のように最初にテーマを伝えます。また Do you know ~? (~について知っていますか。) などのような問いかけも効果的です。全体の構成は、全体から部分へ、結論から理由や具体的な説明へと移っていきます。最後には聞いてくれたことへの感謝の気持ちで Thank you. でしめくくりましょう。

#### ○聞く人の立場で

はっきり聞き取れる声や発音を心がけることはもちろんですが、相手がわかりにくいと思う部分をゆっくり発音する、大切な部分を繰り返す、間を置く、などの聞く人への配慮が大切です。

#### ○実物や写真、絵などを見せる (Show and Tell)

英語でうまく説明できない部分や実際の様子を、絵や写真を見せることで補うことができます。

# 1 新しい友達

目標タイム： 15分

実施の目安： 2年 Warm up

タケシ (Takeshi) は2年生になりクラス替えがありました。英語の時間に、新しいクラスメイトとペアになって英語でインタビューをし、お互いのことを友達に紹介する活動をしました。二人の対話を読んであとの問いに答えましょう。



Takeshi

Hi. I'm Takeshi.  
Nice to meet you.



Ayaka

Hi. My name is Ayaka Ono.  
Nice to meet you, too.

What \*subject do you like?

\* 教科

I like English. How about you?

I like math. It's interesting.

Really? I don't like math.

It's very \*difficult.

\* 難しい

I see. I like swimming.

What's your favorite sport?

Basketball! I love basketball.

I play it every day.

Did you play basketball

\*during spring vacation?

\* 春休みの間中

Yes, I did. I had a big \*tournament  
during spring vacation.

\* 大会(試合)

How was it? Did you \*win?

\* 勝つ

Yes, we did.

Our \*team got \*the first prize!

\* チーム

\* 第1位

Great!

- 1 下の表は、インタビューでわかったことをまとめるためのインタビューメモです。タケシになったつもりで表に英語の語句を書き込み、完成させましょう。

Interview Notes		
	自分のこと	パートナーのこと
Name	Okada Takeshi	①
Subjects	○ math    × P.E.	②
Sports	swimming	③
Spring vacation	London    10 days	④

- 2 学級みんなに、あやかのことを英語で紹介します。タケシになったつもりで、次の条件に従って、話す内容を書いてみましょう。

- 条件① 書き出しのあとに英文を3文以上書く。  
 ② パートナーが春休みに何をしたかは必ず入れる。



**Introduction**

Hello. This is my new friend, Ayaka.

---



---



---



---



---



---



---



---

Class \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

## 問題を解くために

- 1 ① タケシとあやかの対話を読み、大まかな流れをつかむ  
② インタビューメモの項目に合わせて、あやかの答えを書き込む
- 2 ① インタビューメモから情報を選び、どの内容をどの順番で紹介するか決める  
② 代名詞や動詞の形に気をつけて書く

## 1 正答例

	パートナーのこと	
①	Ono Ayaka	
②	○ English	× math
③	basketball	
④	(played) basketball	
	(had) a big tournament	
	(got) the first prize	

## 2 例1)

She likes English.  
She loves basketball.  
She played basketball during spring vacation.

## 例2)

She likes English but she doesn't like math.  
She loves basketball.  
She plays basketball every day.  
During spring vacation her team got the first prize in the big tournament.

## 1 解説

お互いにインタビューをするときには、質問する人と答える人を、順番に交代するのが普通です。しかしタケシとあやかのように、How about you? を使って聞き返したり、自分のことについて先に話したりすることもできます。

相づちや表情で反応することで、安心して答えられる雰囲気になり、会話がスムーズに運びます。

バスケットボールが大好きなあやかは、春休みも練習して、大きな大会で優勝しました。

## 2

★ 代名詞 → 1年生 まとめと練習 4  
He/ his / him She / her / her など

紹介の流れとしては、「バスケットボールが好きだ」→「春休みも練習した」「大会で優勝した」のつながりがあるとよいでしょう。

★ 三人称単数現在形 → 1年生 Unit 6  
主語が She/ He/ Takeshi などの時には動詞の形が変わる play → plays

★ 過去形 → 1年生 Unit 11  
play → played go → went

## STEP UP

<インタビューの後に言いたい言葉> Nice talking with you. お話できてよかったです。

<印象に残る自己紹介・友達の紹介>

- ① 意外な一面を He's a big fan of *Rakugo*. 彼は落語が大好きです。
- ② 嫌いなことやもの I like dogs but he doesn't like dogs.  
ぼくは犬が好きなのに彼は犬が嫌いだそうです。
- ③ 名前の由来など My birthday is in March. So I'm Yayoi.  
私は3月生まれです。だから(名前が)やよいです。



### 3 由香のインタビュー

目標タイム：15分

実施の目安：3年 Unit2 ~

さくら市では地元のラグビー( rugby )チーム、「さくらイーグルス」が全国的に活躍しています。由香は、イーグルス( Eagles )の一員でニュージーランド( New Zealand )出身のルンガ選手( Mr. Runga )にインタビューをし、学校新聞の記事を書くことになりました。

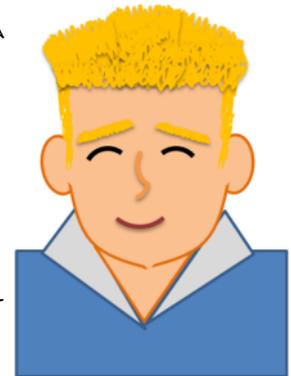
- 1 ルンガ選手の答えから、由香が英語でどんな質問をしたか考えて吹き出しに書きましょう。



Yuka

Thank you very much for this interview, Mr. Runga.  
I am Yuka Tanaka. I'm a big fan of you and Eagles.  
May I ask you a few questions about you?

Sure.



Mr. Bob Runga

①

I am 28 years old.

②

I've played rugby for 20 years.



Oh, really?

③

I came to Japan in 2005 to play rugby  
and I have lived in Japan since then.



I see. So you speak Japanese well.

④



Yes, I do. I love Sakura city and its people.

We love you and Eagles, too.

⑤



In the \*future I want to teach rugby to children in New Zealand.

I hope your dream will come true.

Thank you for your time.  
Good luck to you!

You're welcome.

\* future 未来・将来

**2** あなたなら、ルンガ選手にどんなことを聞いてみたいですか。上の5つの質問のほかに、あと2つ質問を考えて英語で書きましょう。

⑥

-----  
-----

⑦

-----  
-----



Class \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

### 3 由香のインタビュー 正答例と解説

#### 問題を解くために

- 1 (1) 5W1Hをイメージしながら答えとなる文を読み、疑問文を考える  
(2) 現在・過去・現在完了などの文を使い分けて疑問文を作る
- 2 インタビューの目的、会話の流れを考えて適切な質問をする

#### 正答例

- 1
  - ① How old are you?
  - ② How long have you played rugby?
  - ③ When did you come to Japan? または  
Why did you come to Japan? または  
How long have you lived in Japan?
  - ④ Do you like Sakura city?
  - ⑤ What's your dream? または  
What's your plan in the future? または  
What do you want to do in the future?

#### 2 ⑥⑦

- Do you want to play rugby in other countries?  
(他の国でもプレーしたいですか)
- How long have you been a member of the  
Eagles? (イーグルスに入ってどのくらいですか)
- What kind of Japanese food do you like?  
(どんな日本食が好きですか)
- How many people are there in your family?  
(何人家族ですか)

#### 解説

- 1
    - ① 年齢をたずねる。
    - ② How long ← for 20 years (20年間)  
(どのくらい - 20年間)
- ★ 現在完了形(継続) → Unit 2  
have + 過去分詞 で現在完了形  
(ずっと~している)
- ③ 一つの質問に複数の情報の答え
    - When ← I came to Japan in 2005  
(いつ来たか - 2005年に来日)
    - Why ← to play rugby  
(なぜ - ラグビーをするために)
    - How long ← since then  
(どのくらい日本に - それ以来ずっと)

★ 疑問詞のある疑問文 →  
1年生まとめと練習6  
疑問詞 + did you ~?

- ④ 答えが Yes, I do. なので Do you ~?
  - ⑤ in the future (将来は)
- 2 インタビューの目的は「イーグルスや  
ルンガ選手のことを学校新聞の記事にす  
る」です。目的に合った質問はたとえば、  
次のようなものが考えられます。
- ラグビーについての質問
  - イーグルスについての質問
  - ルンガ選手の意外な一面がわかる質問

#### STEP UP

インタビューでは由香のように、対話の中で相づちを打ったり聞き返したりすると相手も話しやすくなりますね。相手の発話に対して自然に反応できるように練習していきましょう。

I see. / Really? / Did you? / That's nice./ That's too bad. / That sounds like fun. /  
How about you? / Pardon? / Could you speak more slowly, please? など



## 4 スクールニュース

目標タイム：15分

実施の目安：3年 Unit3～

あなたの学校のホームページには、学校新聞の英語版が「School News」として毎週掲載されています。下にあるのは、「School News」の中の2つの記事です。「School News」には感想を書き込むコーナーがあります。

### Sakura J.H.S. School News

Students Press  
July 8 ~15

#### NEWS 1

## A Friend from Canada

We are going to have a new friend, **Judy White**, from Canada. She is going to stay here for one year and study with us. She is fourteen and a good basketball player.

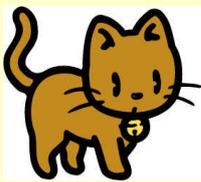
She has already arrived in Japan. The welcome party for her will be held next Friday at school. At the party you can hear about school life in Canada.

Why don't you join the party?



#### NEWS 2

## Missing Cat



**Ms. Nakata**, our English teacher, asked us to find her missing cat. The cat's name is Tama. He has gone since he was chased by another cat around Sakura park two weeks ago. Ms. Nakata has been looking for him since then.

Ms. Nakata is very sad because Tama has been her cat for ten years. Tama has a small bell on his neck. When you call his name, he will come and meow to you. If you find her cat, please contact her.

1 「School News」の記事を読み、読んだ感想（あなたの気持ち）を英文で表してみましょう。2つに記事それぞれについて、下の英文の \_\_\_\_\_ に語句を入れて文を完成させましょう。箱の中の語句を使ってもかまいません。また、何語入れてもかまいません。

happy  
glad  
excited  
surprised  
sad  
sorry\*

\*気の毒に思う・  
残念に思う

① I am \_\_\_\_\_ to read News 1.

② News 2 made me \_\_\_\_\_ .

2 2つの記事のどちらかを選び、読んだ感想をコメントとしてホームページに書き込んでみましょう。コメントは下の注意事項に従って書きましょう。

**注意事項**

- ① 選んだ記事の番号、あなたの名前を、上の段に書きます。
- ② コメントを3文で構成します。
- ③ コメントには次の2つのことが必ず入るようにします。
  - ・記事を読んだ感想（気持ち）
  - ・なぜその感じたのか、その理由

**Please Write Your Comments**

News No.

Your Name:

-----

-----

-----

-----

-----

Class \_\_\_\_\_ - \_\_\_\_\_ No. \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

## 問題を解くために

- 1 ① それぞれの記事のおおまかな内容をつかむ  
② 記事の内容を自分の体験や考えと比較しながら、気持ちを表す文を完成させる
- 2 ① コメントを書く条件に従い、文章の構成を考える  
② 記事を読んでどう感じたか、なぜそう感じたのかが読む人に伝わるように、自分の気持ちに理由や考えを加えて書く

## 正答例

- 1 ① I am happy to read News 1.  
I am very excited to read News 1.
- ② News 2 made me surprised.  
News 2 made me sad and sorry.

## 2 コメントの例

### News 1

I am glad to hear News 1.  
I like basketball.  
I want to play basketball with Judy.

### News 1

News 1 made me excited.  
I'm going to join the party to talk with Judy.  
I really want to be her friend.

### News 2

I'm very sorry to read News 2.  
I have a cat, too.  
I will look for Tama for her.

### News 2

I am sad because Ms. Nakata has been sad for a long time.  
I hope Tama will be found\* soon.

\* found find (見つける) の過去分詞

\* I'm sad. Because ~と2文にせず1文で表現する。

## 解説

1 感想を述べるときに、I am happy. のような単純な表現だけでなく、「～してこう感じた」のように表現したいですね。

- ・ ニュース1を知ってうれしい
- ・ ニュース2を読んで気の毒に思う

★原因を表す不定詞(to + 動詞の原形)  
→ Unit 3

make を使った表現も使えます。

- ・ ニュース1を知ってわくわくした。

★ 「… を～にする」  
make + (名詞) + 形容詞 → Unit 3

- 2 読み手に気持ちを伝えるためには、記事を読んでなぜそう思うのか、その理由が伝わるのが大切です。例えば
  - ・ ジュディと早く友達になりたいので わくわくしてる。
  - ・ 私も猫を飼っているから先生の悲しい 気持ちがわかる。 など

## STEP UP

「英語で感想を・・・」お役立ち表現

I think (hope) that ~.

I am sad because ...

I am sad to hear ~.

~ made me sad.

お互いの気持ちや考えを、積極的に伝え合いましょう。

## 中学校 英語 出題内容 一覧表 (1年生)

◎ 中心となる技能

番号	単元名	主な言語材料等 太字は中心的なもの	問題の概要	問題のねらい	学習指導要領 言語活動の指導事項	活用する技能			
						聞く	話す	読む	書く
1	Hello English	・アルファベット ・ローマ字	<b>図書委員のお仕事</b> 英語の本のタイトルから、日本語を予想する。タイトルのアルファベット順に本を並べる。	・文字を認識し、音と結び付けながら日本語の意味と結び付ける。 ・アルファベットの順番に慣れる。	ウ 読むこと (ウ)			◎	
2	Unit1	・あいさつ ・I am ~. ・Are you ~ ?	<b>ドキドキのあいさつ</b> 外国人の先生の家に招待され、初対面の家族に英語であいさつする。	・状況に合ったあいさつをする。自分の気持ちが伝わるように話す。	イ 話すこと (イ)		◎		○
				・単語や文の書き方に注意して正しく書く。	エ 書くこと (エ)				
3	Unit2	・This is ~. ・He is ~. ・She is ~.	<b>スミス先生の子供たち</b> 写真を見せながら人を紹介している対話を聞いてメモをとる。聞いた内容から簡単な紹介文を書く。	・スミス先生の子供たちに関する対話を聞き、誰のことを話しているか、どんな人かなどの要点を聞き取る。	ア 聞くこと (ア)	◎			○
				・This is ~./ He / She を用いて紹介文を書く。単語や文の書き方に注意して正しく書く。	エ 書くこと (エ)				
4	Unit 3	・一般動詞の疑問文 ・be動詞の疑問文	<b>人気歌手の秘密</b> 人気歌手のインタビュー記事を読んで、アリスが日本語を話せる理由を考える。アリスへの質問を考える。	・テキストの英文の意味を理解するだけでなく、理由を示せるように読んで内容をとらえる。	ウ 読むこと (ウ)			◎	○
				・Are you ~? / Do you ~? を使い分け、たずねたい内容が正しく伝わるように疑問文を作る。	エ 書くこと (イ)				
5	Unit4	・Whatの疑問文 ・代名詞itと形容詞	<b>これな~んだ?</b> 英語でシルエットクイズを作る。絵を描いてヒントを3つ考える。	・スミス先生の質問を読み内容を正しく理解し、自分の答えを考える。	ウ 読むこと (ウ)			○	◎
				・代名詞のitを用いてクイズのヒントとなる文を作り、3文を効果的な順序で書く。	エ 書くこと (ウ)				
6	Unit5	・名詞の複数形 ・数をたずねる 疑問文 (How many~)	<b>キャンプに行こう</b> キャンプに行く計画を立てている4人の対話から、それぞれの物品の数を読み取る。テントを借りるためにスミス先生と対話をする。	・4人の対話文を読み、物品の数や所有についての情報を正確に読み取る。	ウ 読むこと (ウ)		○	◎	
				・スミス先生の質問に対して適切に応じ、テントの数をHow many~?を用いて先生にたずねる文を作る。	イ 話すこと (イ)				

## 中学校 英語 出題内容 一覧表 (1年生)

◎ 中心となる技能

番号	単元名	主な言語材料等 太字は中心的なもの	問題の概要	問題のねらい	学習指導要領 言語活動の指導事項	活用する技能			
						聞く	話す	読む	書く
7	Unit 6	・ 三人称単数現在形 (疑問文)	<b>スミス先生の家族</b> スミス先生と生徒の対話と家族の写真とから、スミス先生の家族について読み取る。また、自分も先生の家族についての質問を考える。	・ 写真を見ながら先生と生徒たちの対話を読み、先生の家族についての情報を正確に読み取る。	ウ 読むこと (オ)		○	◎	
				・ デイビッドについて、たずねたいことが正しく伝わるように質問する。	イ 話すこと (イ)				
8	Unit 6	・ 三人称単数現在形 (肯定文)	<b>大好きなAlice</b> 英語で自分の好きな歌手についてスピーチをする。資料から情報を整理して話す内容を組み立てる。	・ 自分の好きな人や物というテーマについて自分の気持ちが聞き手に伝わるように考えて、話す内容を選ぶ。	イ 話すこと (オ)		◎		○
				・ スピーチで伝えたいことが正しく伝わるように、文と文のつながりや構成を考えて原稿を書く。	エ 書くこと (オ)				
9	Unit 7	・ 疑問詞							
10	Unit 8	・ 疑問詞 代名詞							
11	Unit 9	・ 現在進行形							
12	Unit 10	・ ~できる can	<b>楽しいまきばパーク</b> スミス先生に家族で遊びに行く場所を紹介する。まきばパークで何ができるかを伝える。	・ まきばパークでできることについて、canを用いて正しく文を書く	エ 書くこと (イ)				◎
				・ まきばパークの様子や感想が伝わるように、文と文のつながりに注意して書く。	エ 書くこと (オ)				

## 中学校 英語 出題内容 一覧表 (1年生)

◎ 中心となる技能

番号	単元名	主な言語材料等 太字は中心的なもの	問題の概要	問題のねらい	学習指導要領 言語活動の指導事項	活用する技能			
						聞く	話す	読む	書く
13	Unit 11	・ 過去形	<b>思い出の写真</b> ニュージーランドの中学校からきたコメント付きの写真を参考に、日本から送る写真にコメントを付ける。	・ 送られてきた写真のコメントがどんな構成になっているのか、読んで書き手の意向を理解する。	ウ 読むこと (エ)			○	◎
				・ 写真の出来事の内容を伝えるために、文と文のつながりに注意して書く。	エ 書くこと (オ)				
14	Speaking Plus	・ 道案内 ・ 命令文 ・ お礼への対応	<b>もみじホール (道案内①)</b> 外国人にもみじホールへの行き方をたずねられ、バスで行く方法を説明する。	・ 対話文を読み、状況や相手の意向などを正確に読み取る。	ウ 読むこと (ウ)		◎	○	
				・ 相手の質問に対して、相手が知りたい情報を正確に伝える。	イ 話すこと (イ)				
15	Speaking Plus	・ 道をたずねる ・ 疑問文 ・ 聞き返す/お礼	<b>Jマートはどこ? (道案内②)</b> Jマートへの行き方を外国人にたずねる。いくつかの質問を重ねて、必要な情報を得る。	・ 対話文を読み、健太がどのような質問をしたのかを相手の返答から正確に読み取る。	ウ 読むこと (ウ)	○	◎	○	
				・ 相手の説明が理解できなかったり、聞き取れなかったときに、聞き返すなどして内容を確認する。	ア 聞くこと (エ)				
				・ 相手の質問に対して、相手が知りたい情報を正確に伝える。	イ 話すこと (イ)				

## 中学校 英語 出題内容 一覧表 (2年生)

◎ 中心となる技能

番号	単元名	主な言語材料 太字は中心的なもの	問題の概要	問題のねらい	学習指導要領 言語活動の指導事項	活用する技能			
						聞く	話す	読む	書く
1	Warm up	1年生で学習した 文型・語彙	<b>新しい友達</b> クラス替えてできた新しい友達と、 お互いにインタビューし合う。イン タビューの結果を用いてクラスのみ んなにその友達を口頭で紹介する。	・タケシとアヤカの対話を読み、アヤカのこと について正しく読み取る。	ウ 読むこと (ウ)			○	◎
				・アヤカがどんな生徒なのかが、クラスのみ んなに伝わるような紹介をする。	エ 話すこと (エ)				
2	Unit1	・ <b>be動詞の過去形</b>							
3	Unit2	・ <b>過去形と未来形</b> ・ 現在形	<b>クリスマスへの絵はがき</b> オーストラリアに旅行中のあゆみにな ったつもりで、外国人の友達に旅 の様子を伝えるために英語で絵葉書 を書く。	・ 現在、過去、未来の時制を判断し、それぞ れの英文を語と語のつながりに注意して正 しく書く。	エ 書くこと (イ)				◎
				・ テキストの情報をもとに、事実だけでなく 様子や気持ちを書く。	エ 書くこと (エ)				
4	Unit3	・ <b>不定詞</b> ・ 疑問詞のある疑問 文	<b>青ずきんちゃん</b> 英語の創作童話 「青ずきんちゃん」 を読み、オオカミの質問に答える青 ずきんちゃんのセリフを考える。	・ テキストを読み、物語の流れを正確に読み 取る。	ウ 読むこと (ウ)		○	◎	
				・ 物語の流れや前後のつながりに注意して、 質問の答えとなる事実や考えを正しく伝え る。	イ 話すこと (イ)				
5	Unit4	・ <b>助動詞</b>	<b>ようこそ日本へ</b> ホームステイをするために来日する スコットからのメールを読み、必要 なアドバイスをするために、返信の メールを出す。	・ スコットからのメールを読み、スコットが 日本でやってみたいこと、心配しているこ となどを正確に読み取る。	ウ 読むこと (ウ)			○	◎
				・ 返信メールで、スコットへのアドバイスや 質問に対する答えが正しくわかりやすく伝 わるように、助動詞などを用いて書く。	エ 書くこと (オ)				
6	Unit5	・ <b>接続詞</b>							

## 中学校 英語 出題内容 一覧表 (2年生)

◎ 中心となる技能

番号	単元名	主な言語材料 太字は中心的なもの	問題の概要	問題のねらい	学習指導要領 言語活動の指導事項	活用する技能			
						聞く	話す	読む	書く
7	Unit5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 接続詞</li> <li>・ 命令文</li> </ul>	<b>犬たちと共に</b> 補助犬についての説明文を読み、アメリカンスクールの小学生のために、補助犬への理解を呼びかけるポスターを完成させる。	・ 補助犬の種類、役割、問題点や訓練士の願いなどを <b>正確に読み取る</b> 。	ウ 読むこと (ウ)				
				・ 読み取った内容から呼びかけることを選択し、ポスターとして <b>全体的に一貫性のあるものになるよう考えて書く</b> 。	エ 書くこと (オ)			◎	○
8	Unit6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 動名詞</li> <li>・ There is/are～.</li> </ul>							
9	Unit7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 比較級</li> </ul>							
10	Speaking Plus	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道案内</li> <li>・ 命令文</li> </ul>	<b>市立図書館へ (道案内①)</b> 外国人に市立図書館への道をたずねられ、道順を説明する。	・ 対話文を読み、状況や相手の質問の内容などを <b>正確に読み取る</b> 。	ウ 読むこと (ウ)		◎	○	
				・ 相手の質問に対して、相手が知りたい <b>情報を正確に伝える</b> 。	イ 話すこと (イ)				
11	Speaking Plus	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道をたずねる</li> <li>・ 疑問文</li> <li>・ 聞き返す</li> </ul>	<b>お見舞いに行こう (道案内②)</b> 友達のお見舞いに初めてもみじ病院へ行こうとしている健太になったつもりで、外国人に道順をたずねる。	・ 対話文を読み、健太がどのような質問をしたのかを相手の返答から <b>正確に読み取る</b> 。	ウ 読むこと (ウ)				
				・ 相手の説明が理解できなかつたり、聞き取れなかつたときに、聞き返すなどして <b>内容を確認する</b> 。	ア 聞くこと (エ)	○	◎	○	
				・ 相手の質問に対して、相手が知りたい <b>情報を正確に伝える</b> 。	イ 話すこと (イ)				
12		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長文の読み取り (250語程度の文章)</li> </ul>							

## 中学校 英語 出題内容 一覧表 (3年生)

◎ 中心となる技能

番号	単元名	主な言語材料 太字は中心的なもの	問題の概要	問題のねらい	学習指導要領 言語活動の指導事項	活用する技能			
						聞く	話す	読む	書く
1	Warm up	2年生で学習した 文型・語彙							
2	Unit 1	・受け身形 ・過去形							
3	Unit 2	・現在完了形 (継続) ・疑問詞	<b>由香のインタビュー</b> 学校新聞の記事を書くために、英語でラグビー選手にインタビューをする。相手の答えから、由香がどんな質問をしたのか考える。また、自分なりの質問を考える。	・インタビューでのルンガ選手の答えを正確に読み取り、由香の質問の内容を考える。	ウ 読むこと(ウ)	◎	○		
				・現在完了や過去形の疑問文を使い分け、インタビューで必要な情報を引き出すための質問をする。	イ 話すこと(ウ)				
4	Unit 3	・不定詞 ・現在完了形 ・make+人+形容詞	<b>スクールニュース</b> ホームページ上で学校新聞の英語の記事を読み、その感想をホームページにコメントとして英語で書き込む。	・現在完了形などが使われているテキストを読み、感想を述べることができるように内容をとらえる。	ウ 読むこと(ウ)		○	◎	
				・読んだ内容について、自分の気持ちや、なぜそう思うのかを明確にしながら不定詞などを用いて感想を書く。	エ 書くこと(ウ)				
5	・現在完了形		<b>待ち合わせ</b> 待ち合わせに遅刻したポールと待ちきれずに電話をかけた絵美のそれぞれのセリフを考える。	・ポールと絵美それぞれの立場を踏まえて、それぞれの状況と気持ちが伝わる発話を考える。	イ 話すこと(イ)	◎			
			<b>映画に行こう</b> 何の映画を見るか話し合っているポールと絵美の対話を考える。	・ポールと絵美それぞれの状況と気持ちが伝わる発話を考え、条件にあった対話を完成させる。	イ 話すこと(イ)				

## 中学校 英語 出題内容 一覧表 (3年生)

◎ 中心となる技能

番号	単元名	主な言語材料 太字は中心的なもの	問題の概要	問題のねらい	学習指導要領 言語活動の指導事項	活用する技能			
						聞く	話す	読む	書く
6	Unit4	・疑問詞＋不定詞	<b>テーマパークに行こう</b> 英語を使って楽しむテーマパークで、パンフレットやポスターの見出しを考えたり、スタッフにおみやげを買う相談をしたりする。	・パンフレットやポスターの大まかな内容を読み取り、その内容を表現するための適切な見出しを考える。	ウ 読むこと(ウ)			○	
				・どこでどんなおみやげを買ったらよいかを疑問詞＋不定詞などを用いて正確にたずねる。	イ 話すこと(イ)		◎		
7	Unit5	・後置修飾 ・間接疑問文							
8	Unit6	・関係代名詞							
9	Speaking Plus	・道案内 (乗り物で行く)	<b>スキーに行きたい</b> (乗り換えの道案内) スキーに行きたいスワン先生に、電車とバスを乗り継いでスキー場へ行く行き方をパンフレットを見ながら説明する。	・スワン先生の質問から、先生が知りたい情報を正確に読み取る。	ウ 読むこと (ウ)		◎	○	
				・先生が知りたい情報を入れ、スキー場までの行き方をわかりやすく正しく説明する。	イ 話すこと (イ)				
10	・長文の読み取り (300語程度の物語文)		<b>Mauいの伝説 1</b> ニュージーランドに伝わる伝説 How Maui Found the Seacret of Fire を読む。	・300語程度の英文を定められた時間内で黙読し、あらすじをつかむ。	ウ 読むこと(イ)			◎	
				・物語の内容を理解し、物語の結末にふさわしい英文を選ぶ。	ウ 読むこと(ウ)				
11	・長文の読み取り (300語程度の説明文)								
12	・長文の読み取り (300語程度の説明文)								